

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

青森県 藤崎町

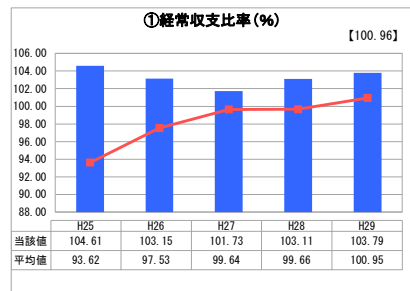
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	51.24	48.85	95.05	3,564

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,172	37.29	406.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,396	3.35	2,207.76

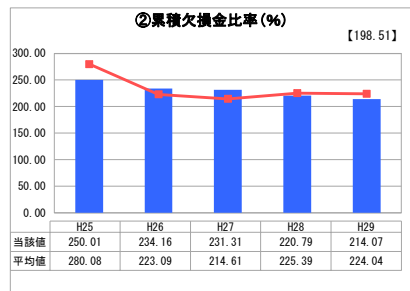
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

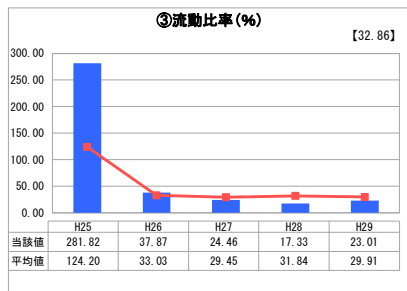
## 1. 経営の健全性・効率性



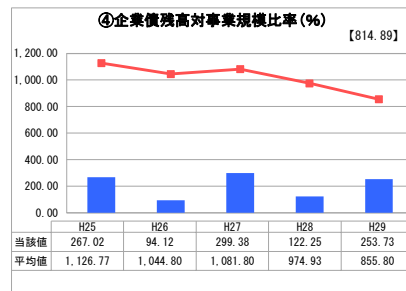
「経常損益」



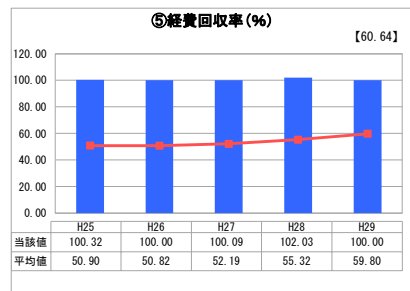
「累積欠損」



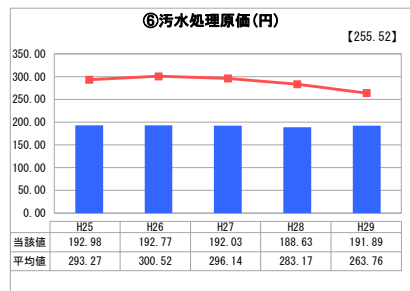
「支払能力」



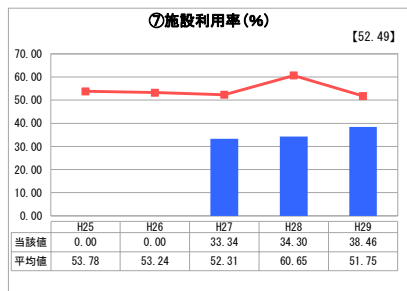
「債務残高」



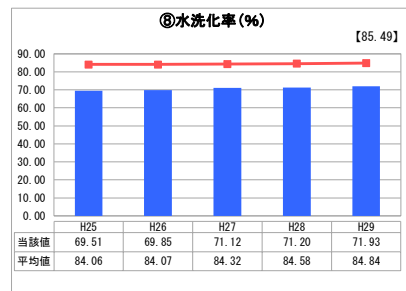
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

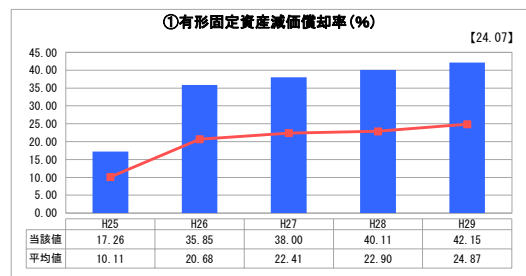


「施設の効率性」

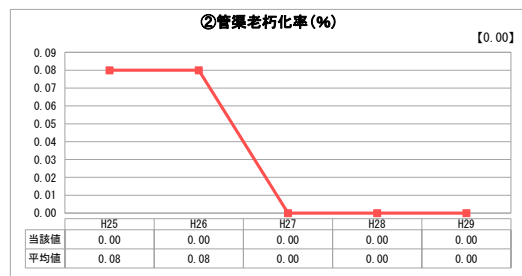


「使用料対象の捕捉」

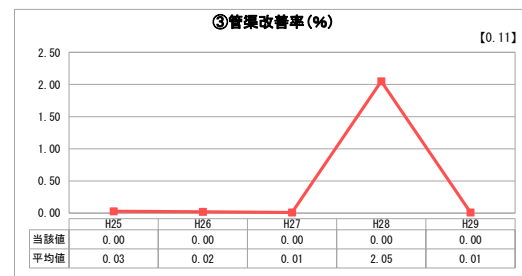
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

藤崎町の現状として、処理施設等に係る維持管理費が通増状況にあり、経常収支比率が悪化していたが、経費削減等の効果により、平成28年度以降は改善している。また、制度改正の影響もあって、流動比率は低い状況にあるが、経費回収率は類似団体や全国平均と比較しても良好であり、汚水処理原価も減少傾向にあるため、全体的な経営状況は改善しているといえる。

しかしながら、現在の処理施設利用率や水洗化率は、他団体と比較しても低い状況にあり、加えて今後の人口減少による使用料収入の減少や、施設の老朽化等に伴い、各種経営指標が悪化すると推計されるため、流域下水道への接続、処理区及び処理施設の統廃合、使用料単価を含めた経営方針の検討、更なる水洗化率の向上等を目指す必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

現時点で耐用年数を過ぎた管渠等はないため、更新投資はまだ行っていないが、ある程度の老朽化した管渠は存在するため、今後更新計画を策定し、更新を検討していく予定である。

### 全体総括

現時点では、経営状況や施設の老朽化等に大きな問題は無いものの、更なる水洗化率向上のための啓蒙活動、適切な使用料徴収、そして一層の経費削減等に努めると共に、今後の安定経営のため、適正な料金収入の算定・改定を行い、経営改善を図っていく必要がある。

また、将来の人口減少に伴う使用料収入の減少や、処理施設の維持管理費の増加等による経営の逼迫化を避けるため、流域下水道への接続、処理区及び処理施設の統廃合を含めた広域化などを検討し、併せて下水道ビジョン等により、老朽化している管渠の計画的な更新を行っていく予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。  
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。